



# 「税に関する作文」

## 足立有美さん(中3)が東金税務署長賞

東金税務署管内の納税貯蓄連合会が募集した「中学生の税に関する作文」で、横芝中学校三年生の足立有美さんの作品が、管内14校から応募のあった1164点の作品の中で最も優秀な作品として東金税務署長賞に選ばれました。今回、その入賞作品を紹介します。



### 税の大切さ

横芝中学校三年

足立有美

大昔から、日本の人々は税を納めている。租、庸、調や年貢米など、奈良時代にはすでに税の制度がとられていた。そして今、納税は国民の三大義務のひとつとされている。

今まで、私は税に対してあまり良いイメージを持っていなかった。税を取り立てる役人がおしたて、農民は重い負担にあえていたという背景からも、どうしてそんなに支払う必要があるのかと感じていたのだ。しかし、税金についていろいろと学んでいくうちに、私は税の大切さを知った。

まず、私たちにとって一番身近にあるのが「消費税」だと思う。今や、書店に行くにしてもスーパーで買物をするにしても三パーセントという税がとられる。消費税は、子どもから大人

までの国民一人一人が、唯一支払う税と言えよう。

次に「所得税」というのがある。私たち中学生には直接関係ないが、お父さんやお母さんが一生懸命に働いて稼いだお金の一部が納められる。これは、収入に応じて支払う税である。毎年「多額の所得税を支払った芸能人のベスト10」などとテレビで報じられているのが思い浮かぶ。

このように私たちは多くの税を支払っているが、その税金はいろいろな形となって国民に恩恵を与えているのだ。今、私たちの生活はとても豊かであり、実に便利な暮らしぶりと言えよう。きちんと舗装された道路、上下水道、身近に利用できる図書館や公民館、公園。そのすべてが税金によるものだ。

また、学校で使う教科書代や定期的に行われる予防接種、それから学校の給食費にしても、私たちの負担はかなり少ない。支払う税のかわりにきちんとした形となってくるものは、少数えあげただけでも十指にあまりものがある。

税金に対してあまりよいイメージを持っていなかったという自分を、今は恥ずかしく思う。だが、私以外にもこういう人がたくさんいるのではないだろうか。税金の使われ方や税金によって私たちの生活が充実しているということを知られば、税金が嫌なものだと考える人はいなくなるだろう。

税金は、私たちの生活を向上するうえでなくてはならないものだし、とても大切なものだと思う。私たち一人一人の支払う税が国を動かしていると言っても過言ではないだろう。ならば私たちは「税金の負担は公平だろうか」「税金は正しく使われているか」などともっと関心を持たなければいけないと思う。ただ税を払うことだけが義務ではない。それらのことを同時に考えて税を納めることが本当の義務ではないだろうか。私も社会人になればいろいろな税と関わることになる。一つの税に対して正しい知識と関心を持っていきいたいと思う。

### 寄付

「福祉のために役立ててください」と次の方々から寄付がありました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



伊東菊雄さん(屋形)は昨年11月15日から20日まで、油絵のチャリティー個展を町文化会館で開催。その際の収益金50万円を寄付していただきました。

市原 恒さん(鳥喰新田) 20万円

チャリティー野球実行委員会 7万9822円

横芝町婦人会 文化祭バザーの収益金 1万9006円



11月に行われたチャリティー野球大会には、町内外から11チームが参加。接戦の末、フェニックスチームが優勝を飾りました。